

公益社団法人 八街市シルバー人材センター

シルバーやちまた

第55号

会員数	
男	160人
女	113人
合計	273人
(令和6年4月1日現在)	

2024年(令和6年)4月30日発行

編集・発行 八街市シルバー人材センター広報部会

〒289-1115 千葉県八街市八街ほ 560 番地 5

TEL(043)442-3531/FAX(043)442-3533



八街市中央公民館の ボランティア清掃活動

令和5年10月28日(土)
地域貢献のため、ボランティア活動を実施しました。植木剪定作業と除草清掃作業を行い、会員及び職員31名が参加しました。久しぶりに顔を合わせ、お互いの近況を話す時間ができました。



除草作業中の参加会員

第2次中期計画を策定しました(令和5年度から令和9年度)
当センターでは平成25年度に策定した中・長期計画(平成25年度から令和4年度)に基づいて事業を推進してまいりました。計画開始から5年が経過した時点で乖離が生じていたため平成30年度に見直しを行いました。その後、想定を超えた社会情勢の変化により、最終年度では目標値との大幅な乖離が生じる結果となりましたことから、今回は計画期間を5年間に定め、第2次中期計画といたしました。

計画の重点項目は次の四項目となります。

- (一) 会員の拡大
- (二) 就業機会の確保・拡大
- (三) 安全管理と適正就業の推進
- (四) 財政基盤の強化

令和六年度

定時総会開催のお知らせ

日時 令和6年6月22日(土)

午後1時30分より

場所 八街市中央公民館

一階中・小会議室

皆様の御参加をお願い致します。

主な掲載内容

- 1頁 第2次中期計画の策定
- 2頁 会長挨拶・市長の挨拶
- 3頁 各種行事・各種講習会
- 4頁 女性部会便り・安全パトロール
- 5頁 会員のページ
- 6頁 お知らせコーナー

新年度を迎えて



会長
阿部 守作

♪こぶし咲くあの丘 北国の春

こぶし、早春を告げる花です。その純白の色であることから花言葉は、「友情」、「友愛」が由来だそうです。又、つぼみが子供の握りこぶしのように見えるため、「可愛らしさ」とも名付けられています。早々、近所の公園に見に行ったが、いつの間にか根元から伐採されており、空しさと悲しさ千倍。

さて、今年もシルバー人材センターを取り巻く諸課題は多く山積みされており、国の高齢者雇用改革により、定年制廃止や延長など、シルバー人材センターにとつては、会員の拡大促進に少なからず影響有りと思われれます。

現状では、登録会員の平均年齢が七十四、九歳と高齢化が進んでおり、加齢により退会していく会員が増加しています。上部組織では、今後、八十歳でも就業出来る機会を模索していく方針が出されていますが……。

八街市の高齢化率は、令和四年度は

六十歳以上三十九、八%と年々一%程度上昇しています。

次に、センター事業を効率的に運営するためのデジタル化の促進です。会員の皆様のご理解とご協力により、取り急ぎ「スマートフォン」による情報提供が始まりました。今後は一歩ずつ提供幅を広げていきます。

最後に第二次中期計画(令和五年度〜令和九年度)を策定しました。「超高齢化社会」に向けて、今後のセンター事業の指標として会員・職員・役員が一枚岩になって取り組んでまいります。

今年、辰年です。陽の光が動いて万物が振動するので活力旺盛になって形が整う年と言われています。頑張りましょう。

「フレッシュマン」と言う懐かしいワードがありました。加齢に打ち勝ち「誠実」、「信頼」、「感謝」を念頭に会員・職員共に「一緒懸命」駆け出しましょう。

ごあいさつ



八街市長
北村 新司

公益社団法人八街市シルバー人材センターの会員の皆様におかれましては、日頃より、市政の推進にあたり格別なご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、知識、経験、技能等を生かし働くことを通じて、生きがいの充実や福祉の増進、活力ある地域社会づくりにご尽力いただいておりますことに、併せてお礼申し上げます。

さて、「人生100年時代」を迎えた今、誰もが生涯現役で活躍できる社会の実現が求められており、元気で意欲あふれる高齢者の方々が、その能力を十分に発揮し、年齢にかかわらず活躍できる社会づくりが必要不可欠な状況でございます。

このような状況におきましては、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化などに貢献されている貴センターの果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっております。

貴センターにおかれましては、今後

ともさらに多くの高齢者の方に入会していただくとともに、長年培ってこられた技術や経験にも的確に対応した就業先や新規事業の開拓など、会員のニーズに応えられる職の開拓に積極的に取り組んでいただき、本市が進める「安心して住めるまちづくり」の一翼を担っていただいている貴センターが、今後ますます充実・発展することを大いに期待いたしているところでございます。

本市といたしましても、高齢者の方々が、地域社会を支える一員として、就業や地域活動など、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、貴センターの運営を支援して参りたいと考えております。

今後とも、会員の皆さまに健康で生き生きと活躍していただき、活力ある地域社会づくりに、なお一層の御尽力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、公益社団法人八街市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員皆さまのご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

各種講習会・行事報告

◆秋の全国交通安全運動

令和5年9月22日(金)某スーパー前にて交通安全街頭活動に参加しました。当センターから4名が参加し、信号待ちで停車中のドライバーに交通安全のチラシ配布を行いました。

◆八街市産業まつり

令和5年11月19日(日)八街中学校の校庭にて、市主催の産業まつりが開催されました。当センターもブースを設営し、会場の3ヶ所ある出入口付近とブース前で当センターの令和6年カレンダー兼会員募集チラシの配布を行ったところ、就業内容等の説明を聞くため16名の方がブースに立ち寄っていただきました。



就業内容説明中の職員



◆交通安全講習会

令和5年11月16日(木)当センターワークプラザにて、佐倉警察署交通課の警部補を講師に招き「高齢者の事故防止」について講義をしていただき、20名の会員が参加しました。



交通安全講習会の様子

八街市管内で多い交通違反は信号機のない横断歩道での一時停止違反との事です。横断歩道にて横断しようする人を見かけたら一時停止線前で必ず停車するようにお願いします。

◆当センターの年末清掃

令和5年12月25日(月)ボランティアで当センターの年末大掃除を行い、20名の会員が参加しました。



ボランティア清掃に参加した方々

◆救急講習会

令和6年2月15日(木)当センターワークプラザにて、八街消防署の方々に講師に招き、成人の心肺蘇生(人工呼吸・胸骨圧迫)とAED取扱いの指導をいただき、18名の会員が参加しました。



救急講習会の様子

参加者にアンケートをお願いしましたところ「当センターの色々な講習会開催は認識していたがチャンスがなく今まで無参加でした。今回初参加し、良い経験になった」との言葉がありました。

◆スマホ教室

令和6年2月26日(月)当センターワークプラザにて、初心者向けスマホ教室を開催し、13名の会員が参加しました。慣れない指先で、文字入力・隣接者と会話・音声で自由の女神像検索方法等を学びました。



スマホ教室の様子

女性部会便り

◆「健康増進講習会」

令和5年10月23日(月)

女性部会主催による健康増進講習会を当センターワークプラザにて行い、18名の会員が参加しました。講義内容は、「フレイル予防について」と高齢者向け健康体操・リズム体操を行い、運動不足を解消し楽しく笑顔で体を動かししました。



フレイル予防について



健康体操で楽しく

◆女性部会の恒例行事

八街駅両出入り口のプラネタリーと花壇に花の植替えを行いました。

安全パトロール

★令和5年10月18日(水)

個人宅の庭木剪定作業と某民間企業の屋内清掃業務
安全就業をお願いします



個人宅の庭木剪定作業



民間企業の屋内清掃

★令和5年12月13日(水)

中央公民館の屋内、外清掃業務
と某施設の屋内、外清掃業務
二箇所とも清掃箇所が多数あり
分担して手際よく作業をしている
ことでした。



中央公民館の清掃業務



施設の清掃業務

★令和6年2月13日(火)

JR八街駅駐輪場管理業務と市内某民間企業研修施設の屋内、外清掃業務
二箇所とも作業エリアが広く、体力維持が大変とのことでした。



JR八街駅駐輪場の自転車管理業務



民間研修施設の清掃業務

発注者から「優秀な就業者です」と感謝の言葉をいただきました。

会員のページ

『バイクとラジコン』

福留 敬治

私は、中学生の頃からバイクに興味を持ち始めて、高校生から乗り始めて、今でも続いています。

ツーリング(遠乗り)が大好きで、鹿児島から北海道まで島嶼部を除いて殆ど走りました。(小刻みですが)

35才の頃、友人がラジコン飛行機をとばしているのを見て、以前から興味があったので、ラジコンを始めました。以来ラジコンとバイクを楽しんでいます。

飛行機とかヘリコプターを練習していると、「以前までは出来なかった技が今日は出来た」などと言う事を経験すると、次の日曜日が楽しみになります。

最近日本の「ドローン規制」は世界でも類を見ない程厳しくなり、かなりやりづらくなりましたが、バイクと両方楽しんでいます。

特にバイクは高齢になりましたので、ツーリング中も家族の事を忘れず、安全運転に徹しています。

いかにして費用を掛けずに楽しむか工夫するのも醍醐味のひとつです。

一度生死を彷徨う大事故を経験した時は、もうバイクはやめようと考えましたが、月日が経つと「どうしても又乗りたい」と言う気持ちが押えられず、今も乗っています。

家族への感謝の気持ちはとても大きいです。



福島の旅



島根の旅



現在飛ばしている飛行機
(全長2メートル)

『モットーで頑張る』



大竹 功

公園での就業を開始し、会員登録して間もなく三年になる75才、皆と楽しく働いています。家内に先立たれ、その後再婚し、これからの自分をいろいろな人から教えられる教訓をモットーとしてがんばっています。

1. 一年の始まりは節分から。食欲に感謝し、腹七分、早い治療、快眠、快便、歌と思い出作りは身体と心に栄養をくれる。
2. 納豆を食べ、毎日の歩行が健康長寿の秘訣。
3. 大丈夫だろうが命取り。
4. 人に感謝できる人は、人に感謝される。
5. 薄皮付きのピーナツは、一日十粒。
6. 我慢しない事が、脳と身体が若返る。
7. 量より質の栄養価で、身も心も軽やかで友達に恵まれ、楽しい

毎日の満足人生を目指す。

8. 腸内環境を整える大切。
 9. 頑張れ、人生は話す力と食生活で決まる。
 10. 水を侮る者は命を奪われるが、水は命を救つてもくれる。
 11. 乾いた土からも水を出す、気力こそ成功者。
 12. やりたい事は、定年になってから始めるのでは、体力的にも弱り、やりたいことが実行できない。
 13. 我慢生活する程、人生は長くない。
 14. 楽しみを、カットするより、無駄でないかをチェックする。
 15. 無事故で楽しく元気の百歳を目指す。
- 以上の教訓をモットーに日々頑張っております。

ガンバルー



お知らせ

シルバー人材センターは、会員の生きがい発見の場、高齢者にふさわしい仕事を会員に提供する公益法人です。自分らしく働きたい高齢者の自主的な会員組織です。

会員になって働くメリットは？

- ・自分に合った働き方は健康・増進につながる
 - ・働くことが生きがい、社会参加を実感できる
 - ・仕事の報酬で、暮らしに少しゆとりができる
 - ・仕事をすると生活にリズムが戻ってくる
 - ・仕事をとおして、新しい仲間づくりができる
 - ・働く私は元気がかっこいい！
- 会員の仕事は「臨・短・軽」**
- 高齢者にふさわしい、臨時的・短期間で週20時間を超えない軽易な仕事です。
- 会員が長く元気に働くため、公平に仕事が行き渡る為に会員は、ひとつの仕事を分かち合います。
- 60歳以上の健康で、シルバー人材センターで就業する意欲ある人なら、なたでも会員になれます。

会員募集中
入会説明会開催中
第1・第3月曜日
 (祝日の場合は翌日)
 午後1時30分より

シルバー人材センター
 ワークプラザ2階会議室

刃物研ぎます！

月2回【毎月第1・第3 水曜日】
 午後2時～午後4時
 申込は事務室までお越し下さい
 料金 包丁・・・340円
 鎌・・・390円
 刈込鋏・・・550円
 刃こぼれ・・・倍額

配分金支払日

4月分	5月31日(金)
5月分	6月28日(金)
6月分	7月31日(水)
7月分	8月30日(金)
8月分	9月30日(月)
9月分	10月31日(木)

安全就業心得10箇条

1. 作業は安全第一を心掛けて、急いで慌てたりしないこと。
2. 器具類は、使用する前に必ず点検すること。
3. 服装・履物は、作業にあった動きやすいものにする。
4. 作業前には、軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。
5. 加齢による諸機能の低下を充分に認識し、無理をしないこと。
6. 作業現場では、常に整理整頓を心掛けること。
7. 共同作業では、合図、連絡を正確に行うこと。
8. 帰宅するまでは仕事のうち、交通事故に気を付けること。
9. 健康には、常に注意し、健康な状態で就業すること。
10. 仕事の前日は、充分睡眠を取るように心掛けること。

「令和6年能登半島地震」

災害義援金にご協力ください

令和6年1月に発生した、能登地方を震源とする地震により、各地で甚大な被害が発生しています。当センターでは事務所窓口に募金箱を設置して義援金を受け付けて

おります。お預かりした義援金は、日本赤十字社を通して、被災者及び被災地の支援に役立てます。皆さまの温かいご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



能登半島地震
 災害義援金募金箱

あとがき

コロナも5類へ移行され、世の中もコロナ前の姿に戻りつつあります。しかしこの間の打撃は大きく、コロナが明けても回復しないものは沢山あるようです。加えて元旦に起こった能登地震、翌日の航空機事故、海外へ目を移せばウクライナもガザも悲惨な状況に変わりはありません。

四月、新しい年度となりました。まだ何かと落ち着かない昨今ではありますが、健康、安全には十分留意しつつ、世の平穏を願い、日々の生活を少しでも潤いのあるものにしていきたいものです。

(広報部会・伊藤)